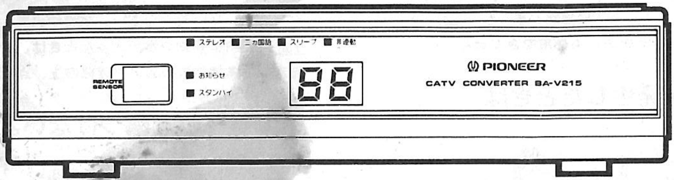
取扱説明書

CATVコンバーター

BA-V215



このたびは、パイオニアの製品をご用命いただきまして、まことにありがとうございます。本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくためにご使用の前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は大切に保管してください。使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

目　次

PIONEER®
──音と光の未来をひらく──

安全にお使いいただくために

国内でのみご使用ください



本機は日本国内専用仕様です。使用電源は、交流(AC)100Vです。大型クーラー用などの200Vコンセントには接続しないでください。発火を起こすなど大変危険です。
また船舶などの直流(DC)電源にも使用できません。

本機に異常が発生したときは



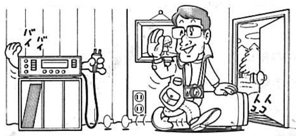
ご使用中に本機から異常な音やにおいがしたときは、必ず電源コードをコンセントから抜き、アフターサービス連絡先または本機の取扱店にご連絡の上、点検を受けてください。

分解しないでください



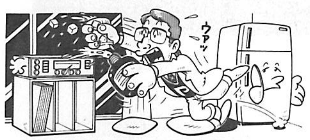
本機の内部には高電圧がかかっている所があります。キャビネットをあけて、内部点検や改造は感電の恐れがあります。お客様が改造を加えた場合の性能の劣化や故障については、パイオニアでは保証いたしません。

長い期間、使用しないときは



旅行や外出などで留守にされる場合は、安全のために電源コードをコンセントから抜いてください。不慮の事故で火災を引き起す恐れがあります。

水や異物はきらい



機器の通風孔や開口部などからヘヤピンや釘、硬貨などの金属製のものや紙、マッチなどの燃えやすいものを差し込んだり落としたりしないでください。故障や火災、感電の恐れがあります。機器内に異物や水が入ったときは、アフターサービス連絡先または本機の取扱店にご連絡の上、点検を受けてください。

電源コードを傷つけないように



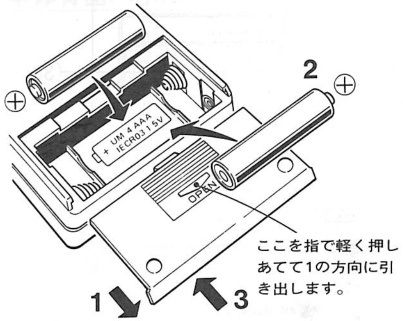
電源コードの抜き差しは、電源プラグを持って行ってください。コードを引っぱったり、ぬれた手で取り扱うと、ショートや感電の恐れがあります。
電源コードを本体や家具などの下に敷いたり物にはさんだりしないでください。また他のコードとつないで結び目を作ったり、往来の激しい場所に放置しないでください。コードを損傷させ、感電や火災の恐れがあります。
電源コードはときどき点検して、傷んでいたらアフターサービス連絡先または本機の取扱店に交換を依頼してください。

容量以上の接続はやめて



AC OUTLET(電源コンセント)を備えている機器では、他のステレオ機器の電源コードを接続できます。消費電力がパネルに表示された容量を超える電気機器は接続しないでください。機器の故障や火災の恐れがあります。
また、テレビなど、電源が入ったときに大電流が流れる機器は、テレビを接続できる設計となっている機器以外には接続できません。

乾電池の入れ方

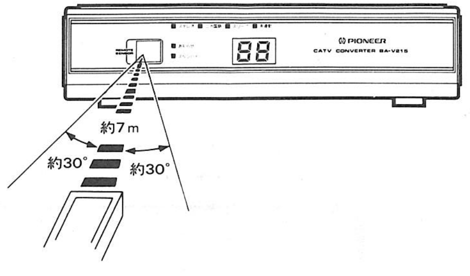


1　フタをはずします。
2　「＋」「－」をよく確かめて単4乾電池を2本入れます。
3　フタをしめます。

ご注意

- 電池の＋と－の向きは、リモコン内部の表示に合わせて正しく入れてください。
- 新しい電池と使用した電池を混ぜて使用しないでください。
- 違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。電池には充電式とそうでないものがあります。電池の注意表示をよく見て使用してください。
- 電池の寿命は通常の使いかたで、約6か月です。長時間(1か月以上)リモコンを使わないときは必ず電池を取り出してください。
- 万一、液もれが起こったときは、ケース内の液を完全にふきとってから新しい電池を入れてください。

リモコン操作可能範囲



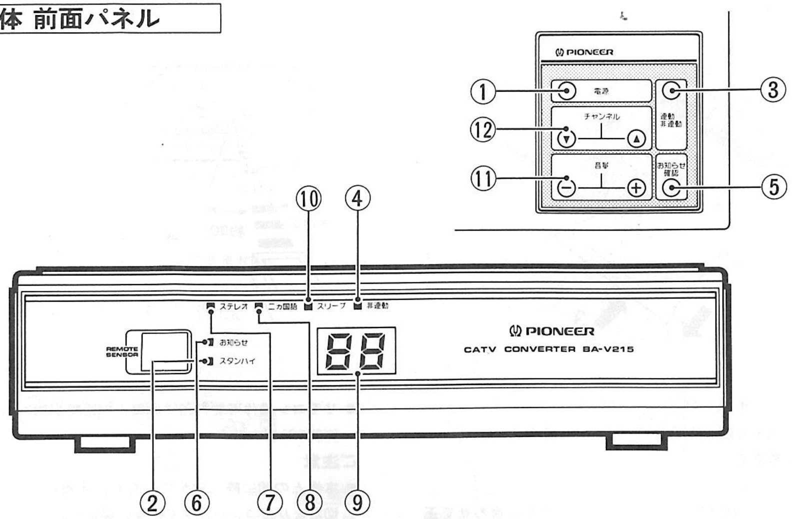
- リモコン操作可能範囲は本機との距離が約7m、角度は左右に約30°以内です。

ご注意

- 本機との間に障害物があったり、本機前面との角度が不適切だとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線を発する機器の近くで本機を使用したり、赤外線を利用した機器のリモコン装置を使用すると、本機が誤動作することがあります。逆に、赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時に本機のリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。

各部の名称とはたらき

本体 前面パネル



①[電源](スタンバイ/入)ボタン

[電源]ボタンを押すと「入(ON)」になり、チャンネル表示が点灯します。もう一度、電源ボタンを押すと「スタンバイ」になり、テレビの電源も切れます。

ご注意

ご使用のテレビによっては、本機の電源を「入(ON)」にしても電源が入らないものもあります。

②スタンバイ表示

電源が「スタンバイ」のときに点灯し、「入(ON)」のときに消えます。

③連動/非連動ボタン

背面にある電源コンセントを①の[電源]ボタンと連動させて「入」、「切」または常に「入」の状態にするかを選びます。テレビをつなぐとき、連動にしておくと便利です。(9ページ参照)

④非連動表示

電源コンセントが非連動になっているとき点灯します。

⑤お知らせ確認ボタン

お知らせ表示が点灯または点滅したとき、このボタンを押すと、お知らせ放送を見ることができます。

⑥お知らせ表示

センター(送信局)より緊急放送や受信者にお知らせがあるとき点灯または点滅します。(18ページ参照)

⑦ステレオ表示

ステレオ放送受信時に点灯します。

⑧二カ国語表示

二カ国語放送受信時に点灯します。

⑨チャンネル表示(ディスプレイ)

選局したチャンネルを表示します。また、緊急放送時には「C」と表示し、お知らせ放送受信中は「C1」と表示します。

⑩スリープ表示

スリープタイマーが動作しているときに点灯します。

⑪音量調節ボタン

[+]を押すと音量が大きくなります。[−]を押すと音量が小さくなります。それぞれのボタンを押し続けると、音量は連続して変わります。

参考

- 音量はテレビ画面にバーで表示されます。

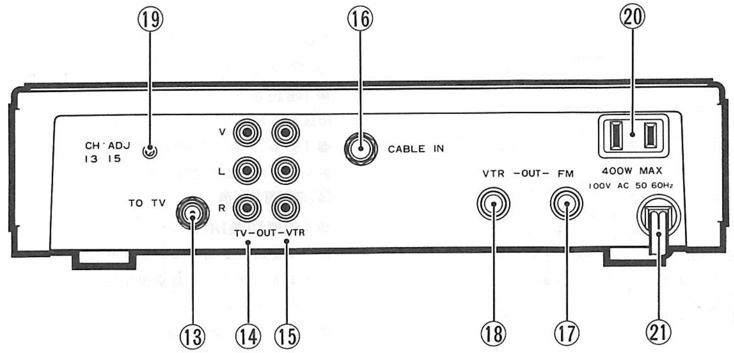
⑫チャンネル選局ボタン

[▲]を一度押すごとに、チャンネルはひとつずつ大きな数字になります。[▼]を一度押すごとに、チャンネルはひとつずつ小さな数字になります。

参考

- [▲]または[▼]を押し続けると、チャンネルは連続して切り換わります。希望のチャンネルで押すのをやめ、チャンネルを合わすこともできます。
- [▲]を押し続けて、最大数字のチャンネルになったあとは、最小数字のチャンネルになります。また、[▼]を押し続けて、最小数字のチャンネルになったあとは、最大数字のチャンネルになります。

本体背面パネル



⑬テレビ出力端子(TO TV)

テレビのアンテナ入力端子(UHF端子)に市販の75Ω/300Ω変換器を介し、同軸ケーブルとフィーダー線で接続します。本機側に75Ω同軸ケーブル、テレビ側へ300Ωフィーダー線(またはメガネフィーダー)です。また、テレビがU/V混合入力を備えている場合は、そのまま同軸ケーブルで接続できます(F接栓利用)。

⑭テレビ出力端子(TV)

テレビのライン入力とピンコード(ビデオコード、オーディオコード)で接続します。

⑮VTR出力端子(VTR)

VTRのライン入力端子とピンコード(ビデオコード、オーディオコード)で接続します。

⑯ケーブル入力端子(CABLE IN)

ケーブルテレビ局のケーブルと接続します。

⑰FM出力端子

FMチューナーに同軸ケーブルで接続します。

⑱VTR出力端子

VTRのアンテナ入力端子(VHF端子)と同軸ケーブル(75Ω)で接続します。

⑲CHセレクター(同調用ボリューム)

テレビ出力端子⑬の出力CH13〜CH15を同調するときに使用します(工場出荷時はCH14に設定してあります)。

⑳電源コンセント

テレビを接続します。

㉑電源コード

ご家庭のAC100Vの電源コンセントに接続します。電源周波数は50Hz/60Hz地域ともに使用できます。

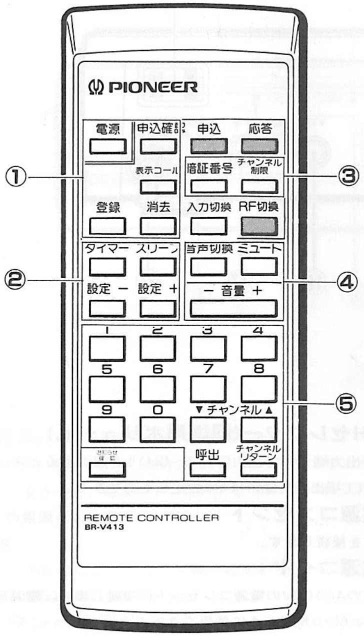
[ご注意]

- 本機の電源コンセントにはテレビのみ接続してください。また電源コンセントの容量は最大400Wです。400Wを越えるものや、トースター、ドライヤーなどの器具は絶対に接続しないでください。本機の故障や火災の原因となることがあります。
- 本機のボンネットを不用意に開けないでください。もし、開けますと自動的に動作を停止します。たとえ、ケースを戻しても動作しないように施されていますので、ご注意ください。

リモコン

ご注意

- 本機では、以下のボタンは使用しません。
  [申込]ボタン、[応答]ボタン、[入力切換]ボタン、[RF切換]ボタン



① 電源、データ入出力関連

● **[電源]ボタン**
本体[電源]ボタンと同じ働きをします。

● **[申込確認]ボタン**
申し込んだ有料番組の確認をします。

● **[表示コール]ボタン**
テレビ画面に時刻、映像・音声内容、タイマー動作、スリープ動作の情報を表示します。

● **[登録]ボタン**
チャンネルメモリー、暗証番号、タイマー予約の操作で、登録を行うときに使用します。

● **[消去]ボタン**
チャンネルメモリー、タイマー予約の操作で、消去を行うとき、またはお知らせ表示を消灯させるときに使用します。

② タイマー、スリープ関連

● **[タイマー]ボタン**
タイマー予約状態になります。

● **[スリープ]ボタン**
スリープタイマーの動作時間の設定、解除ができます。

● **[設定＋]、[設定－]ボタン**
プログラム番号、曜日、開始時刻、終了時刻、チャンネル番号を選択します。

③ チャンネル制限関連

● **[暗証番号]ボタン**
暗証番号を入力するときに使用します。

● **[チャンネル制限]ボタン**
チャンネル制限の登録、解除に使用します。

④ 音声関連

● **[音声切換]ボタン**
音声多重放送受信中は、主音声/主副音声/副音声の切り換えができます。ステレオ放送受信中は、ステレオ/モノラルの切り換えができます。

● **[ミュート]ボタン**
音をちょっと消しておきたいときに押します。もう一度押すと元に戻ります。

● **[－音量＋]ボタン**
[－音量＋]ボタンの「＋」側を押すと音量が大きくなり、「－」側を押すと音量が小さくなります。

⑤ チャンネル切り換え関連

● **[テンキー]ボタン**
チャンネル番号を入力するときに使用します。

● **[▲]、[▼]ボタン**
[▲]ボタンを押すとチャンネル番号が大きくなり、[▼]ボタンを押すとチャンネル番号が小さくなります。

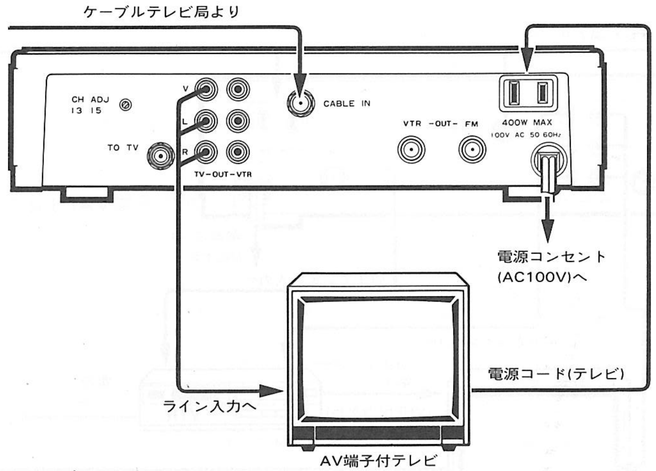
● **[チャンネルリターン]ボタン**
直前に視聴していたチャンネルを再び選局したいときに使用します。

● **[呼出]ボタン**
登録したチャンネルを呼び出すことができます。

● **[お知らせ]ボタン**
本体「お知らせ」表示が、点滅または点灯時に「お知らせ」ボタンを押すと、お知らせ放送を見ることができます。

接続について

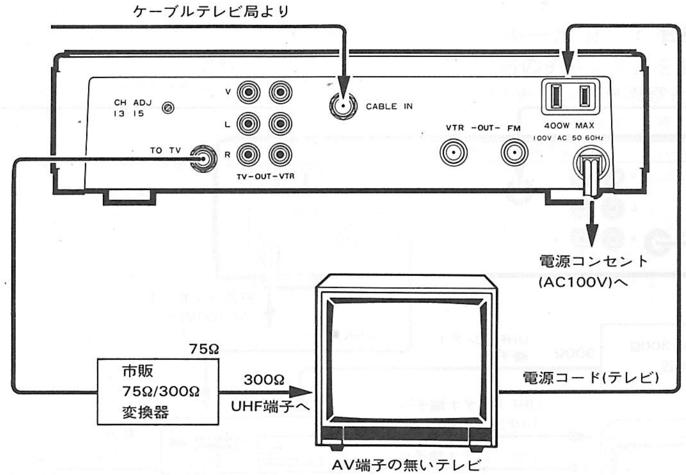
AVテレビと接続するには



参考

- AVとは、音声(オーディオ)信号および映像(ビデオ)信号のことをいいます。通常は、ピンプラグコード(黄、白、赤プラグ付)で入力↔出力を接続します。

一般のテレビと接続するには

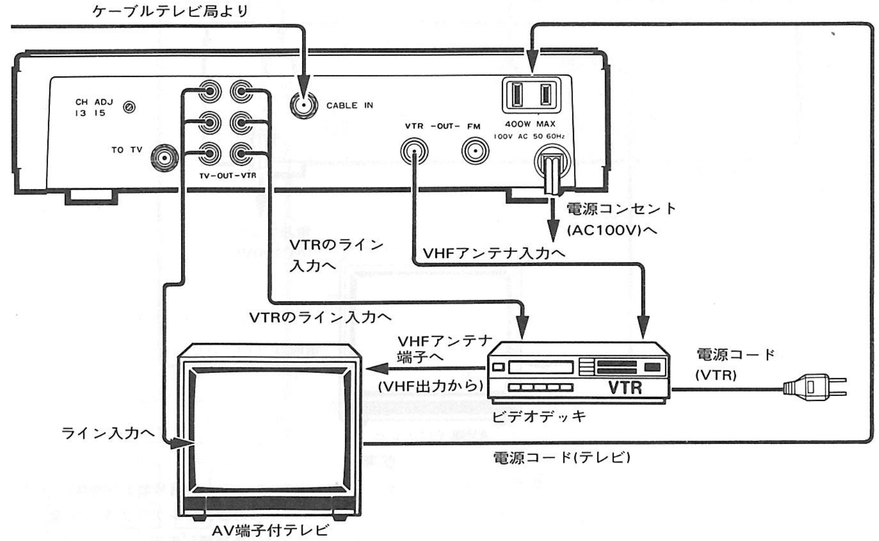


(ご注意)

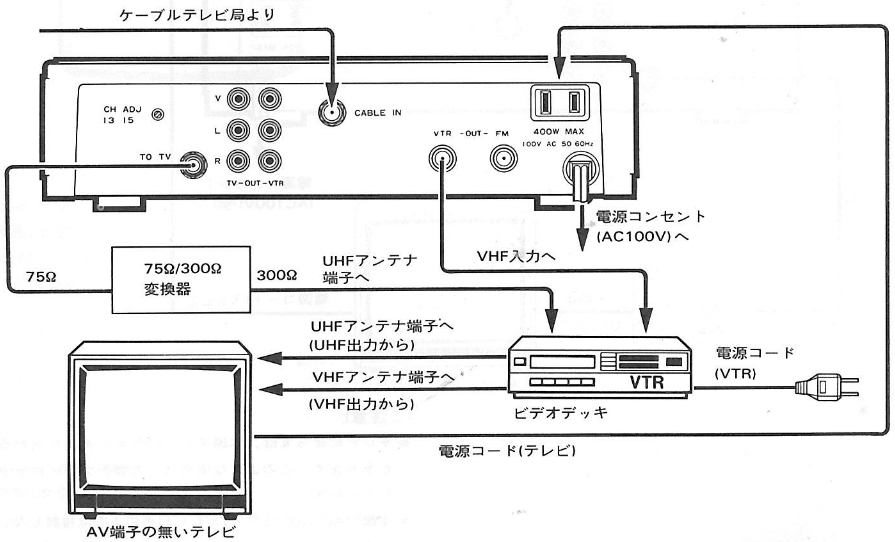
- テレビによっては、本機を近づけますと画面が揺れることがあります。このような場合は、本機をテレビから少し離してください。
- 本機のAC OUTLETにはテレビ以外のものは接続しないでください。

VTRと接続するには

■ AVテレビの場合



■ 一般のテレビの場合



操作のしかた

操作をする前に

■ AVテレビの場合

1 テレビの電源スイッチを「入(ON)」にします。
2 本機の[電源]ボタンを押して、電源を「入(ON)」にします。なお本機の電源はリモコンでも「入(ON)」「スタンバイ」できます。
3 テレビの「入力切換」を選びます。本機を接続した、テレビ側の入力端子に合わせて切り換えます。

■ 一般のテレビ(AV端子の無いテレビ)の場合

1 テレビの電源スイッチを「入(ON)」にします。
2 本機の[電源]ボタンを押して、電源を「入(ON)」にします。なお本機の電源はリモコンでも「入(ON)」「スタンバイ」できます。
3 テレビのチャンネルをUHF(例:14チャンネル)に合わせます。正しいチャンネルについては、ケーブルテレビ局にお問い合わせください。

■ 連動/非連動の切換え

1 本機を「スタンバイ」状態にして連動/非連動ボタンを押します。
2 チャンネル表示に AC と表示されている間に電源ボタンを押します。非連動表示を点灯させると非連動に、消灯させると連動となります。

参考

● 本機のコンセントにテレビの電源プラグを接続し連動/非連動ボタンにて連動にしておくと、本機の電源の「入(ON)」「スタンバイ」でテレビの電源も連動します。その場合は、テレビの電源は常時「入(ON)」にしておきます。

(ご注意)

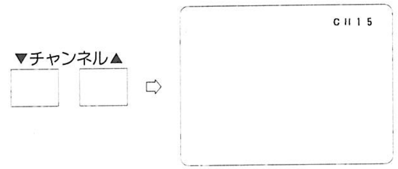
ご使用のテレビによっては、本機の電源を「入(ON)」にしても電源が入らないものもあります。この場合、テレビの電源スイッチで「ON」にしてください。

チャンネルを選ぶ

※ 以下の操作はリモコンを使っての操作例です。

チャンネル選局ボタン[▲][▼]でチャンネルを選ぶには

[▲]または[▼]を押し、希望のチャンネルに合わせます。
テレビ画面と本機のディスプレイに選んだチャンネル番号が表示されれます。



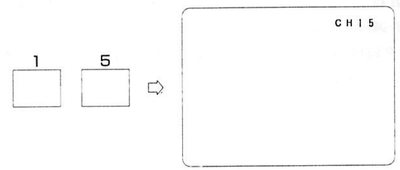
参考

● [▲]を押すごとに、チャンネルはひとつずつ大きな数字になります。また[▼]を一度押すごとに、チャンネルはひとつずつ小さな数字になります。また、CATV局で使用していないチャンネルはスキップします。
● [▲]または[▼]を押し続けると、チャンネルは連続して切り換わります。希望のチャンネルで押すのをやめ、チャンネルを合わすこともできます。
● [▲]を押し続けて、最大数字のチャンネルになったときは、最小数字のチャンネルになります。また、[▼]を押し続けて、最小数字のチャンネルになったときは、最大数字のチャンネルになります。

テンキーボタンでチャンネルを選ぶには

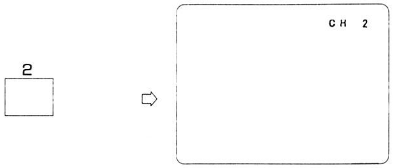
例 2桁のチャンネルを選ぶ…
15チャンネル選ぶとき

テンキーの[1][5]を連続して押します。テレビ画面に「CH15」と表示されます。



例 1桁のチャンネルを選ぶ…
2チャンネルを選ぶとき

テン•キーの[2]を押します。テレビ画面に「CH2」と表示されます。



ご注意

- 2桁の数字を押す場合は、数字を連続して押してください。間隔があまり空いてしまうと、間違ったチャンネルが選局されることがあります。
- ケーブルテレビ局で設定していないチャンネルを選んだ場合は、テレビ画面に「未使用CH〇〇」と表示されます。正しいチャンネルを選び直してください。
- ケーブルテレビ局と契約していないチャンネルを選んだ場合は、テレビ画面に「このチャンネルは契約されていません。お申し込みはCATV局へ」と表示されます。正しいチャンネルを選び直してください。

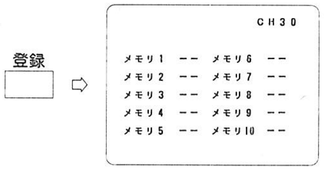
チャンネルを登録する/呼び出す

希望するチャンネルを10チャンネル(10局)まで登録することができます。登録したチャンネルは登録した順番に呼び出すことができます。

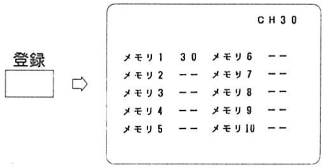
■ チャンネルを登録する
例 30チャンネルを登録する場合

1 登録したいチャンネルを選局します。この場合は、30CHを選局します。

2 [登録]ボタンを押します。現在の登録内容がテレビ画面に表示されます。



3 もう一度[登録]ボタンを押します。空いているメモリーの小さい番号に「30」と表示され、登録が終了します。



参考

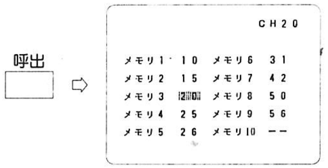
- この操作を繰り返すと、最大10チャンネル(10局)まで登録することができます。

ご注意

- 10局以上登録すると、最初に登録したチャンネルから順に取り消されますのでご注意ください。
- 同じチャンネルを二重に登録することはできません。

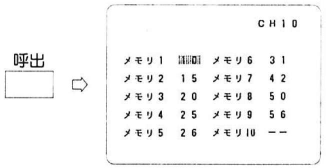
■ 登録したチャンネルを呼び出す
例 メモリー3に登録した、20チャンネルを呼び出す場合

[呼出]ボタンをメモリー番号の数だけ押します。[呼出]ボタンを押すごとに、登録した順にチャンネルを呼び出すことができます。この場合は、[呼出]ボタンを3回押します。

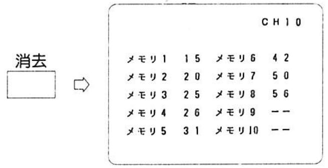


■ 登録したチャンネルを取り消す
例 メモリー1に登録した10チャンネルを取り消す場合

1 登録を取り消したいチャンネルを選局します。この場合は、[呼出]ボタンを1回押してメモリー1に登録した10チャンネルを呼び出します。



2 [消去]ボタンを押します。10CHがテレビ画面から消え、登録してあるチャンネルのメモリー番号がひとつずつ繰り上がります。



直前に見ていたチャンネルをチャンネルリターン機能で呼び出す

今視聴しているチャンネルの直前に視聴していたチャンネルをボタンひとつで呼び出すことができます。

[チャンネルリターン]ボタンを押します。



参考

- [チャンネルリターン]ボタンを押すことで、二つのチャンネルを交互に視聴することが簡単にできます。

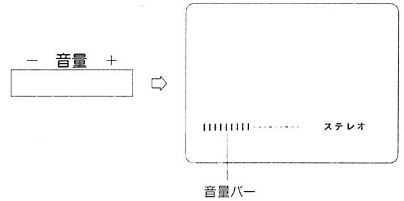
例 CH13を視聴中に!



音量を調整する

テレビ本体を操作しなくても、好みの音量に調整することができます。

[ー音量+]ボタンの「ー」側を押すと、音量は小さくなります。また、「+」側を押すと、音量は大きくなります。音量はテレビ画面にバーで表示されます。



● [ミュート]ボタンの使い方

[ミュート]ボタンを押すと、音声が聞こえなくなり、テレビ画面の音量バーが点滅します。再び[ミュート]ボタンを押すと、音声が出てきます。表示中の音量バーは音の大きさを表わしています。

● [音声切換]ボタンの使い方

- ステレオ放送受信中のとき[音声切換]ボタンを押すと、「ステレオ」が「モノラル」に「モノラル」が「ステレオ」に切り換わります。
- 二か国語放送受信中のとき[音声切換]ボタンを押すと、「主音声」→「主/副音声」→「副音声」→「主音声」の順に切り換わります。

ご注意

- ステレオ放送受信中、「モノラル」で視聴しているとき、他のチャンネルのステレオ放送を選局すると、自動的に「ステレオ」に切り換わります。
- 二か国語放送受信中に、他のチャンネルの二か国語放送を選局しても音声のモードは切り換わりません。なお、他のチャンネルのステレオ放送を選局すると、自動的に「ステレオ」に切り換わります。

チャンネル制限の使いかた

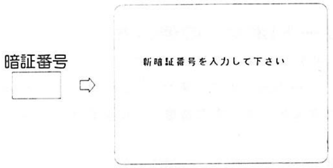
● チャンネル制限とは

ご加入しているケーブルテレビ局のチャンネルの中で、お子様などに「見せたくない」チャンネルを任意に選び、「見ることができないよう」にする機能です。チャンネル制限をするときは、必ず暗証番号の登録が必要です。暗証番号は4桁の数字で登録します。ただし、暗証番号に「0000」は使用できません。暗証番号は再登録するまで有効です。暗証番号の再登録については〈暗証番号を変更するには〉をご覧ください(→13ページ)。

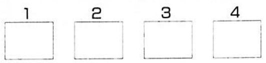
暗証番号を登録する

例 暗証番号「1234」を登録する場合

1 [暗証番号]ボタンを押します。「新暗証番号を入力してください」とテレビ画面に表示されます。



2 4桁の数字で暗証番号を入力します。この場合は、[1][2][3][4]と押します。



3 [登録]ボタンを押します。これで暗証番号の登録が終了します。



参考

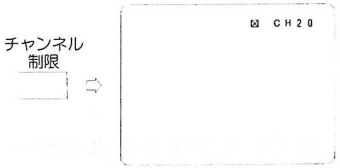
● 暗証番号を登録すると、テレビ画面のチャンネル表示の左側に□が表示されます。これは正しい暗証番号が入力されたことを示します。

チャンネル制限をするには

例 20チャンネルをチャンネル制限する場合

1 20CHを選局します。テレビ画面に□が表示されます。

2 [チャンネル制限]ボタンを押します。テレビ画面に☒が表示され、20CHのチャンネル制限が設定されます。



3 [電源]ボタンを押し、「スタンバイ」にします。

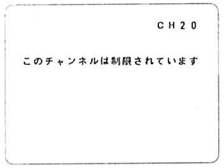


次に[電源ボタン]を押して、電源が入ると、20CHがチャンネル制限され、下記の〈チャンネル制限されたチャンネルを視聴するためには〉の操作か、13ページの〈チャンネル制限を変更するには〉の操作をしなければ20CHを視聴することはできません。

チャンネルを制限されたチャンネルを視聴するには

例 チャンネル制限された20CHを視聴する場合暗証番号は「1234」

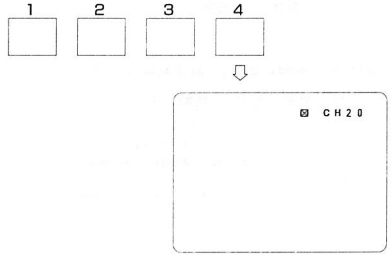
1 20CHを選局します。テレビ画面に20CHの表示と、「このチャンネルは制限されています」と表示されます。



2 [暗証番号]ボタンを押します。



3 暗証番号を[1][2][3][4]と押します。テレビ画面に正しい暗証番号が入力されたことを示す☒が表示され、チャンネル制限された20CHを視聴することができます。

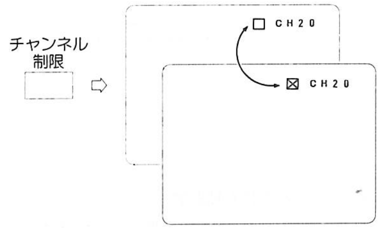


チャンネル制限を変更するには

1 すでに登録してある暗証番号を入力します。

2 変更したいチャンネルを選局します。テレビ画面のチャンネル表示に次のマークが付きます。
チャンネルが制限されているときの表示:☒
チャンネルが制限されていないときの表示:□

3 [チャンネル制限]ボタンを押します。



● チャンネル制限ボタンを順次押すと交互に切り換わります。
● チャンネルを制限したいときは"☒"にします。
● チャンネルを制限したくないときは"□"にします。

4 [電源]ボタンを押し、「スタンバイ」にします。



暗証番号を変更するには

1 すでに登録してある暗証番号を入力します。

2 〈暗証番号を登録する〉の操作で、あらたに登録する暗証番号を入力し、[登録]ボタンを押します。

3 [電源]ボタンを押し、「スタンバイ」にします。新しく登録した暗証番号に変わります。

ご注意

● 暗証番号を忘れたときは、ケーブルテレビ局にお問い合わせください。
● チャンネル制限の機能は、ケーブルテレビ局によってできない場合があります。詳しくはご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

タイマー予約の使い方

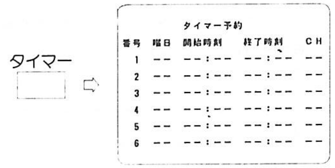
タイマー予約をすれば、希望する時刻に自動的に電源の「入」「スタンバイ」ができ、CATVを受信することができます。また、VTRに接続していれば、タイマー予約の機能で「留守録画」をすることができます。タイマー予約は1週間に6つのプログラムまで、お好きな時刻を設定して見る(録画する)ことができます。曜日の設定については、日曜日から土曜日を個々に選ぶ他に、予約した時刻に毎日見る(録画する)「毎日」、月曜日から土曜日の「月土」、月曜日から金曜日までの「月金」でそれぞれ設定ができます。

タイマー予約をするには

例 次のような条件でタイマー予約をする場合

予約番号 …… 2
予約日 …… 木曜の夜
開始時刻(電源「入」) …… 午後9時00分
終了時刻(電源「スタンバイ」) …… 午後10時55分
予約チャンネル …… 5チャンネル

1 [タイマー]ボタンを押します。テレビ画面に「タイマー予約」の画面が表示されます。

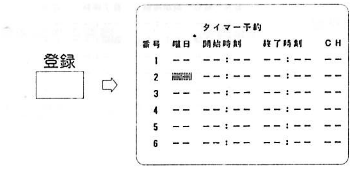


■ 予約番号の設定

2 「予約番号2」が点滅するように、[設定+]または[設定−]ボタンを押し、選択します。

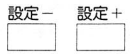


3 [登録]ボタンを押します。「予約番号2」が点滅をやめ、点滅が「曜日」に移動します。

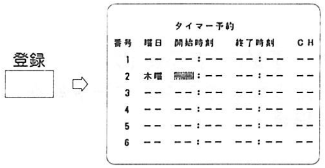


■ 予約日の設定

4 [設定＋]または[設定－]ボタンを押し、「曜日」を「木曜」に合わせます。

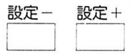


5 [登録]ボタンを押します。「木曜」が点滅をやめ、点滅が「開始時刻」の「時」に移動します。

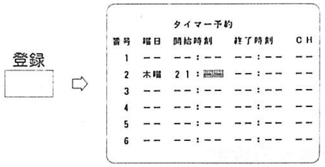


■ 開始時刻の設定

6 [設定＋]または[設定－]ボタンを押し、「開始時刻」の「時」を「21」に合わせます。



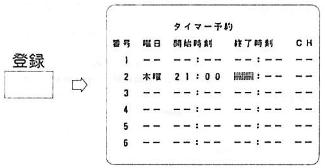
7 [登録]ボタンを押します。「開始時刻」の「時」が点滅をやめ、点滅が「開始時刻」の「分」に移動します。



8 [設定＋]または[設定－]ボタンを押し、「開始時刻」の「分」を「00」に合わせます。



9 [登録]ボタンを押します。「開始時刻」の「分」が点滅をやめ、点滅が「終了時刻」の「時」に移動します。

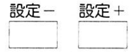


参考

● 「開始時刻」「終了時刻」は、24時間表示で入力します。午前0時00分は「0」、午後12時00分は「12」のように入力します。

■ 終了時刻の設定

10 [設定＋]または[設定－]ボタンを押し、「終了時刻」の「時」を「22」に合わせます。



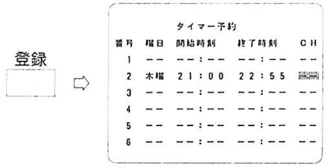
11 [登録]ボタンを押します。「終了時刻」の「時」が点滅をやめ、点滅が「終了時刻」の「分」に移動します。



12 [設定＋]または[設定－]ボタンを押し、「終了時刻」の「分」を「55」に合わせます。

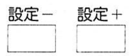


13 [登録]ボタンを押します。「終了時刻」の「分」が点滅をやめ、点滅が「CH」に移動します。

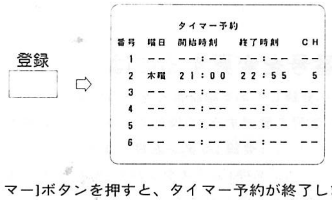


■ 予約チャンネルの設定

14 [設定＋]または[設定－]ボタンを押し、「CH」を予約するチャンネル「5」に合わせます。



15 [登録]ボタンを押します。



16 [タイマー]ボタンを押すと、タイマー予約が終了します。



タイマー予約を確認する

1 [タイマー]ボタンを押します。テレビ画面に「タイマー予約」の画面が表示され、タイマー予約の状況を確認することができます。



2 再び[タイマー]ボタンを押すと、放送を受信できます。



タイマー予約を取り消すには

例 タイマー予約の番号「2」の予約した内容を取り消す場合

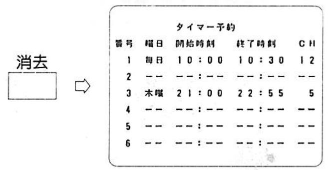
1 [タイマー]ボタンを押します。テレビ画面に「タイマー予約」の画面が表示されます。



2 [設定＋]または[設定－]ボタンを押し、タイマー予約の番号「2」が点滅するようにします。



3 [消去]ボタンを押します。タイマー予約の番号「2」の予約した内容が消え、取り消しが終了します。



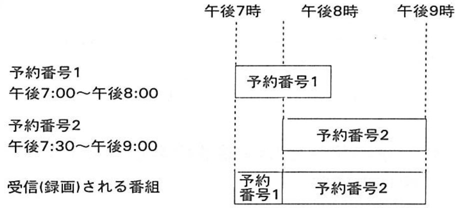
4 再び[タイマー]ボタンを押すと、放送を受信できます。



● タイマー予約の時間が重なってしまったときは

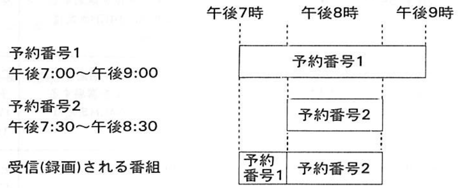
■ 終了時刻と開始時刻が重なってしまった場合

● 開始時刻の遅い予約番号の開始時刻が優先となります。開始時刻の早い予約番号の受信(録画)は終了時刻前にカットされます。



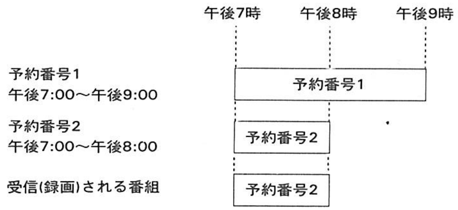
■ 途中で開始、終了する場合

● 開始時刻の遅い予約番号の開始時刻が優先となります。また、予約時間帯が一部でも重なっていると、後からスタートした予約番号の終了時刻になると、終了してしまいます。先にスタートした予約番号の終了時刻には戻りません。



■ 同時に開始する場合

● タイマー予約の開始時刻が同じ場合は、予約番号が大きい方が優先されます。



● 留守録画の手順

1 希望する番組を〈タイマー予約をするには〉の操作でタイマー予約をします。(→13ページ)。

2 VTRの「留守録画手順(お手持ちのVTRの取扱説明書をご覧ください)」に従い、VTRの開始時刻を本機よりも少し早めに、終了時刻を少し遅めにセットします。

3 VTRの入力切換を外部(ライン入力)にします。

4 本機の電源を「スタンバイ」にします。

裏番組録画の手順

● AVテレビに接続した場合

したいこと	VTRは	テレビは	本機(CATVコンバーター)
録画するのはTVチャンネル 視聴するのはCATVチャンネル	録画したいチャンネルを選局する	ライン入力を選択する	視聴したいチャンネルを選局する
録画するのはCATVチャンネル 視聴するのはTVチャンネル	ライン入力を選択する	視聴したいチャンネルを選局する	録画したいチャンネルを選局する
録画するのはCATVチャンネル 視聴するのは同じCATVチャンネル	ライン入力を選択する	ライン入力を選択する	録画(視聴)したいチャンネルを選局する
ビデオを再生するには	再生にする	ライン入力を選択する	

● 一般のテレビ(AV端子の無いテレビ)に接続した場合

したいこと	VTRは	テレビは	本機(CATVコンバーター)
録画するのはTVチャンネル 視聴するのはCATVチャンネル	録画したいチャンネルを選局する	CATV局より指定されたチャンネルを選局する(13CH、14CHまたは15CH)	視聴したいチャンネルを選局する
録画するのはCATVチャンネル 視聴するのはTVチャンネル	CATV局より指定されたチャンネルを選局する(13CH、14CHまたは15CH)	視聴したいチャンネルを選局する	録画したいチャンネルを選局する
録画するのはCATVチャンネル 視聴するのは同じCATVチャンネル	CATV局より指定されたチャンネルを選局する(13CH、14CHまたは15CH)	CATV局より指定されたチャンネルを選局する(13CH、14CHまたは15CH)	録画(視聴)したいチャンネルを選局する
ビデオを再生するには	再生にする	ビデオの出力チャンネルに合わせる	

ご注意

あるCATVチャンネルを視聴しながら別のCATVチャンネルを裏録することはできません。

スリープタイマー

おやすみ前に電源を切るまでの時間をスリープタイマーで設定することができます。

[スリープ]ボタンを押すごとに設定時間は次のように変わります。

→30分→60分→90分→120分→表示なし→

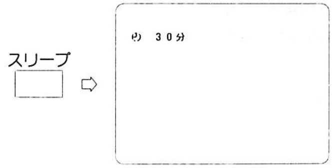
画面に表示した好みのスリープ時間にするとスリープタイマーの設定が完了します。

参考

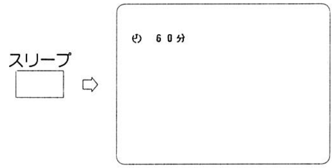
● 「表示なし」はスリープタイマーが解除されていることを示します。

例 スリープタイマー60分を設定する場合

1 [スリープ]ボタンを押します。スリープタイマーが「30分」と表示されます。



2 [スリープ]ボタンをもう一回押すと、スリープタイマーが「60分」と表示されます。



スリープタイマーが動作している時、本体前面パネルのスリープ表示が点灯します。

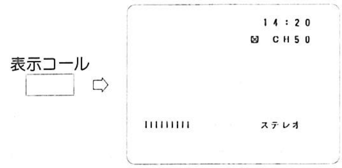
ご注意

● スリープタイマーは「電源」ボタンを押して、「スタンバイ」にしたとき解除されます。

表示コール機能

表示コール機能で、現在の時刻、入力内容、チャンネル制限内容、受信チャンネル番号、音量、音声入力内容、スリープタイマーの設定などがテレビ画面に表示され、現在の受信状況を知ることができます。

[表示コール]ボタンを押します。CATVを見ているときは、つぎのように表示されます。



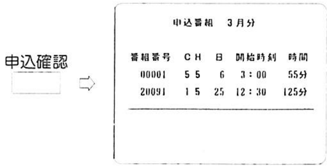
①現在の時刻……………………午後2時20分
②暗証番号……………一致状態(チャンネル制限登録中)
③入力チャンネル……………………50CH(CATV)
④音量……………………………………5割程度
⑤音声……………………………………ステレオ放送中

参考

● [表示コール]ボタンを2回押すと、現在の時刻だけ表示します。
● [表示コール]ボタンを3回押すと、通常の画面に戻ります。

申込確認機能

「申込確認」ボタンを押します。申し込んだ有料放送の「番組番号」「CH(チャンネル番号)」「日(放送日)」「開始時刻」「時間(放送時間の分数)」などが表示され、確認することができます。



ご注意

- 申込確認の運用をしていないケーブルテレビ局もありますので、詳しくはご加入のケーブルテレビ局にお尋ねください。

緊急放送　お知らせ放送について

ケーブルテレビ局から加入者宅に、「緊急放送」や「お知らせ放送」が行われることがあります。このような放送が行われると、お知らせ表示が点灯または点滅します。本体または、リモコンのいずれかのお知らせ確認ボタンを押し、放送を受信してください。

> お知らせ表示を消灯させるには、「お知らせ放送」受信時に、リモコンの[消去]ボタンを押してください。
> お知らせ表示を消灯させてしまうと、お知らせ確認ボタンを押しても、お知らせ放送をご覧になれませんので、ご注意ください。

ご注意

- 緊急放送の運用について、詳しくはご加入のケーブルテレビ局におたずねください。

仕　様

〔コンバーター部〕

受信周波数範囲	90～456MHz
出力チャンネル	UHF CH14
(CH13～CH15可変)	
入力信号レベル	60～85dBμV
RF出力信号レベル	75dBμV
映像/音声出力端子	2系統
映像入出力信号レベル	1.0Vp-p
音声入出力信号レベル	200mVrms
CATV入力信号分岐	2分岐
VTR出力	＋3dB(入力信号に対して)
FM出力	＋3dB(入力信号に対して)

〔電源部、その他〕

電源電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	14W(スタンバイ時：7W)
電源コンセント	400Wmax.
外形寸法	260(W)×65(H)×212(D)mm
本体重量	2.1kg

〔付属品〕

取扱説明書	1
ビデオコード	1
オーディオコード	1

- 上記の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

パイオニア株式会社 〒153 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<91H02YF0E03>

<BRA1029-A>